

大丸有 SDGs ACT5

2026年4月15日

報道関係各位

大丸有 SDGs ACT5 実行委員会
三菱地所株式会社

～企業・団体・世代の垣根を超えた、まちぐるみのサステナブルなアクション～

累計約 16 万人が参加の「大丸有 SDGs ACT5」 有楽町・KK 線を舞台にした中高生向けワークショップから 7 年目がスタート

三菱地所株式会社、農林中央金庫、株式会社日本経済新聞社、株式会社日経 BP 等で構成される大丸有 SDGs ACT5 実行委員会は、2026年5月7日より約7ヵ月間にわたり、7年目となる「大丸有 SDGs ACT5」を実施いたします。

期間中は、持続可能な食や、ワーカールの WELL-BEING、資源循環、ダイバーシティ&インクルージョンなどの社会課題をテーマに、SDGs 活動を推進する体験型イベントやセミナー、エリア内店舗と連携した取り組みなど、様々なアクションを展開します。あわせて、今年度も「丸の内ポイントアプリ」と連携し、個人の SDGs アクションに応じてポイントが貯まる仕組みを継続・強化。新たな協力店舗の参加により、さらなる行動変容の促進を図ります。

大丸有 SDGs ACT5（以下、ACT5）では、就業者約 35 万人、約 5,000 事業所が集積する大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、大丸有エリア）を舞台に、まち全体を「プラットフォーム」と捉え、社会課題を知る・体験する・行動につなげる機会を創出しています。2026 年度も、「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会の WELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つのテーマに基づき、企業・団体の枠を越えて連携しながら、まちぐるみのアクションを推進します。昨年度は、44 件のアクションを展開し、大丸有エリア内外の 81 社・団体による協賛や協力のもと、延べ 62,892 名が参加。大丸有 SDGs ACT5 が開始した 2020 年度からの累計参加者数は約 16 万人に達しました。

（2025 年度アクションレポート：https://act-5.jp/wp-content/uploads/2026/03/act5-25_report.pdf）

■旧東京高速道路（KK 線）を舞台に、中高生向けキャリア探究ワークショップからスタート

2026 年度の ACT5 の取り組みに先行し、新規企画として、4 月 25 日（土）～26 日（日）に開催される「Roof Park Fes & Walk 2026」（主催：東京都、東京高速道路株式会社）において、株式会社ビズリーチと共催で、中高生向け特別ワークショップ「未来のまちと働き方を考える-キャリアの教室-」を 4 月 25 日に実施します。高速道路としての役割を終え、新たな都市空間へと生まれ変わる旧東京高速道路（KK 線）を舞台に、ACT5 のテーマの一つである「ひとと社会の WELL」のもと、新たな働き方や生き方を考える実践の場として、まちづくりに関わっている方や多様な分野で働く大人との対話を通じて、「未来のまち」と「自分自身のキャリア」について考える機会を提供します。



大丸有  SDGs ACT5 BIZREACH

中高生向け
**未来のまちと
働き方を考える**
キャリアの教室ワークショップ

4/25(土) 10:00 - 14:15 頃
Roof Park Fes & Walk 2026
場所：旧東京高速道路（KK線）上部空間

イベント名：【中高生向け】未来のまちと働き方を考える-キャリアの教室ワークショップ-

日時：2026年4月25日（土）10:00～14:15頃

場所：旧東京高速道路（KK線）「Roof Park Fes & Walk 2026」会場内（ZONE3）

対象：中学生～高校生（30名）

参加費：高校生以上：1,000円

中学生：無料（※中学生1名につき、大人または高校生+小人ペアチケット1枚が必要）

※参加費には「Roof Park Fes & Walk 2026」の入場料が含まれます

内容：大人へのインタビューやワークを通じて、変化し続けるKK線を舞台に「仕事のリアル」に触れ、未来のまちと自分のキャリアを考える中高生向けキャリア探究プログラム

<https://act-5.jp/act/2026act3-1/>

申込：<https://roofpark-feswalk2026.jp/>（先着順）

企画：大丸有SDGs ACT5 実行委員会、株式会社ビズリーチ 未来投資プロジェクト

全体イベント主催：東京都、東京高速道路株式会社

<大丸有SDGs ACT5 開催概要>

- 主催 大丸有SDGs ACT5 実行委員会
- 時期 2026年5月7日（木）～11月30日（月）
- 場所 大丸有エリア各所（店舗やビル専有部・共用部、道路空間を含めたパブリックスペース、各取り組みの協働先、連携先の地域等を活用）
- 内容
 - ・2030年のSDGs達成に向け、大丸有SDGs ACT5 実行委員会として取り上げるべき関連テーマを5つ設定し、それに沿った諸活動を、大丸有エリアを起点として地域等とも連携して実施する。
 - ・エリア内外の企業や団体の協力のもと、まちをプラットフォームとして捉え、様々な社会課題について発信・啓発を行うと共に、来街者・就業者のSDGs活動を拡大・促進する。
 - ※具体的なアクションやイベントについては詳細が決定次第、お知らせします。
- 実行委員会構成企業 三菱地所（委員長）、農林中央金庫（副委員長）、日本経済新聞社（副委員長）、日経BP、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、大丸有エリアマネジメント協会、大丸有環境共生型まちづくり推進協会、東京国際フォーラム
- 後援 国連広報センター
- 公式サイト <https://act-5.jp/>



▲2026年度の大丸有エリア内のポイント付与店舗 MAP

<大丸有 SDGs ACT5 の活動（予定）>

■ACT1（サステナブルフード）

カフェ、レストラン、社員食堂など、たくさんの“食の消費者”と、“食の使い手”が集う大丸有エリアだからこそ、持続可能性に配慮した食文化の普及や、フードロス対策に取り組むことが重要です。ACT1 ではサステナブルな食について考え、行動する機会を提供しています。

・取り組み例：マルシェ

地方の生産者を応援するとともに、大丸有エリアの来街者・就業者の方々に“食の未来”や“持続可能な食料システム”について考えるきっかけとなるようなマルシェイベントを開催します。



■ACT2（環境）

日々たくさんのエネルギーや資源が消費される大丸有エリアでは、まちとして、個々人として、環境負荷をいかに低減していくかは重要な課題です。ACT2 では、「大丸有グリーンネイバーフッド～体験し、つながり、変えていく～」をコンセプトとし、気候変動、サーキュラーエコノミー、森林保全・生物多様性について、まちぐるみで持続可能な都市のあり方やライフスタイルについての検討と情報発信を行っています。

・取り組み例：「濠プロジェクト」

かつて皇居のお濠に生息し、現在は消失してしまった貴重な水草の系統保全と、泥に種子が眠っている可能性のある水草の復元に挑戦するプロジェクトです。皇居外苑と大丸有エリアの生物多様性について学ぶことを目的に、お濠に入って泥と生きものの採取、観察イベントの実施を予定しています。



<予定>・5/20：World Bee Day 丸の内ハニー企画イベント

・8月：シゼンコパン×濠プロジェクト親子向け企画

・9月：濠プロジェクト

■ACT3（ひとと社会のWELL）

様々な社会課題が渦巻く中、個々人の生活や働き方などが大きく変化しています。ACT3 では新たな働き方を考え、実践する機会を創出すると共に、ひとりひとりのウェルビーイングの向上を通じて、社会がより良い状態となることを目指し、様々なアクションに参加できる仕組みづくりにも挑戦しています。

・取り組み例：丸の内プロギング

プロギングとは、ジョギングとごみ拾いをミックスしたヨーロッパを中心に流行中の SDGs スポーツです。大丸有エリアのごみ問題と、大丸有ワーカーの WELL-BEING に対して向き合う新しいアプローチとして、プロギングジャパンとのタイアップイベントを、5月から11月まで、毎月1回、開催します。

<予定>・4/25：ACT5×ビズリーチ共催【中高生向け】未来のまちと働き方を考える-キャリアの教室 ワークショップ-

・5/27、6/24、7/29、8/26、9/30、10/28、11/25：丸の内プロギング

・10/10：空と土プロジェクト（山梨県の耕作放棄地の稲刈りツアー）



■ACT4（ダイバーシティ&インクルージョン）

大丸有エリアを訪れるすべての人々にとってやさしいまちを目指すべく、多様な価値観に目を向けながら様々な視点からこのまちを見直していきます。ACT4では、企業・当事者・個人に関わらず、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）を一步先に進め、誰もが楽しみながら Enjoy & Join で未来の多様性について考える機会と場を提供しています。

・取り組み例：E&J ラボ、E&J フェス



LGBTQ+ や障がい者の方々等に関する企業の具体施策やヒントを学べる企業担当者向けのセミナー・交流会を行う「E&J ラボ」や、誰もが楽しみながら参加できるイベント「E&J フェス」を開催します。

<予定>・6月以降：E&J ラボ

・秋頃：E&J フェス

・10/20-21：キラキラとアートコンクール一般審査会（障がいのある子ども達のアートコンクール）

■ACT5（コミュニケーション）

コミュニケーションは SDGs のすべてのテーマに関わる重要な視点です。多様なアプローチでSDGsに触れる機会を創出し、SDGsをよく知らない人にも気軽に楽しんで参加していただけるような豊かなSDGs体験をお届けしています。

・取り組み例：大丸有SDGs映画祭

大丸有エリアのイベントスペース等をミニシアターに仕立て、まちをあげての映画祭を開催。環境問題、貧困、ダイバーシティに関わる問題などを扱う映画を上映し、様々な社会課題について触れ、学び、考える機会を提供します。昨年度は全13作品上映、約644名の皆さまにご参加いただきました。



<予定>・秋頃：大丸有SDGs映画祭

・9月：日経大丸有SDGsフェス2026（SDGsに関連した有識者等を招いたビジネスパーソン向けセミナー）

※上記以外にも多様なイベント等の開催を予定しています。開催時期や内容等は変更になる可能性があります。

<「丸の内ポイントアプリ」ACT5 キャンペーンについて>

「丸の内ポイントアプリ」は、大丸有エリアの600店舗以上でのお買い物でポイントが貯まり、支払い時に貯まったポイントを利用できるアプリです。丸の内ポイントアプリ内でACT5キャンペーンにエントリーした上で、マイボトルやエコバッグ、マイ箸の持参、リペアサービスの利用や、大丸有SDGs ACT5が実施する様々なSDGs関連イベントへ参加することにより、ポイントやクーポンを獲得できます。登録者数約42.8万人（2026年3月時点）が利用する丸の内ポイントアプリを活用することでさらに個人の行動変容を促し、エリア内の随所でSDGsアクションを起こすきっかけが生まれ、次のSDGsアクションにつながっていく好循環の構築を目指します。



■ダウンロード方法 App Store および Google Play からアプリ名「丸の内ポイントアプリ」を検索、または右記二次元コードよりアクセス



■参加方法 「丸の内ポイントアプリ」のホーム画面の右記キャンペーンバナーよりACT5キャンペーンにエントリー

※本年4月1日からは、「丸の内ポイントアプリ」上で、ACT5キャンペーンにエントリーできるようになっています。



■ポイント・クーポン付与期間 2026年5月7日（木）～11月30日（月）

・配布ポイント有効期間：2027年7月31日（土）までを予定

・配布クーポン有効期間：2027年2月28日（日）までを予定

<大丸有 SDGs ACT5 とは>

大丸有エリアに拠点を置く企業が集まり、SDGs の目標期限である 2030 年の 10 年前にあたる 2020 年 5 月に発足しました。大丸有エリアを軸に、企業が主体となって取り組むことで、企業間連携による SDGs 活動の相乗効果を検証し、長期的に実現可能な SDGs モデル都市の構築を目指します。「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会の WELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つの ACT（テーマ）を設定し、各アクションの実践、効果の検証、社会課題の構造的な問題を明らかにすることをミッションとしています。

大丸有 SDGs ACT5 公式サイト：<https://act-5.jp/>



以上